

御許シテ得タルニ依リマシテ、本日ノ議事ノ進行ハ私ガ之ニ當リマス。
十一月五日御前會議決定ニ基キマシテ、陸海軍ニ於テハ作戰準備ノ完
整ニ勉メマスル一方、政府ニ於キマシテハ凡有手段ヲ盡シ、全力ヲ傾
注シテ、對米國交調整ノ成立ニ努力シテ參リマシタガ、米國ハ從來ノ
主張ヲ一步モ譲ラザルノミナラズ、更ニ米英蘭支聯合ノ下ニ支那ヨリ
無條件全面撤兵、南京政府ノ否認、日獨伊三國條約ノ死文化ヲ要求ス
ル等新ナル條件ヲ追加シ帝國ノ一方的譲歩ヲ強要シテ參リマシタ。若
シ帝國ニシテ之ニ屈從センカ帝國ノ權威ヲ失墜シ支那事變ノ完遂ヲ期
シ得ザルノミナラズ、遂ニハ帝國ノ存立ヲモ危殆ニ陥ラシムル結果ト

(36)

相成ル次第デアリマシテ、外交手段ニ依リテハ到底帝國ノ主張ヲ貫徹
シ得ザルコトガ明トナリマシタ。
一方米英蘭支等ノ諸國ハ、其ノ經濟的軍事的壓迫ヲ益々強化シテ參リ
マシテ、我國力上ノ見地ヨリスルモ、又作戰上ノ觀點ヨリスルモ、到
底此ノ僥倖移スルヲ許サザル状態ニ立チ至リマシタ。事茲ニ至リマシ
テハ、帝國ハ現下ノ危局ヲ打開シ、自存自衛ヲ全ウスル爲、米英蘭ニ
對シ開戦ノ已ムナキニ立チ至リマシタル次第デアリマス。
支那事變モ己ニ四年有餘ニ亘リマシタル今日、更ニ大戦争ニ突入致ス
コトト相成リ、宸襟ヲ憐マシ奉ルコトハ洵ニ恐懼ノ至リニ堪エヌ次第
デゴザイマス。
然シナガラ孰ク考ヘマスルニ國力ハ今ヤ支那事變前ニ數倍シ、國內ノ

結束愈々固ク、陸海將兵ノ士氣益々旺盛ニシテ、舉國一體一死奉公、
國難突破ヲ期スベキハ私ノ確信シテ疑ハヌ所テゴザイマス。
就イテハ別紙本日ノ議趣ニ付テ、御審議ヲ願ヒ度イト存ジマス。尙外
交渉作戦事項其ノ他ノ事項ニ關シマシテハ、天々所管大臣及統帥部
側ヨリ御説明申上ゲマス。

348

S 1.7.0.0 - 51

貳拾部ノ内18

國策
秘密
(結語)

御質問又ハ御意見ハ以上ヲ以テ終了シタルモノト存ジマス。別紙本日
ノ議趣ニ就キマシテハ、御異議ナキモノト認メマス。
就イテハ最後ニ私ヨリ一言申述ベタイト存ジマス。私共一同今後一層
全力ヲ盡シテ報效ノ誠ヲ致シ、政戦一致施策ヲ周密ニシ、舉國一體必
勝ノ確信ヲ持シ、速ニ戦争目的ヲ完遂シ、南人ノ遺棄ヲ断リテ皇國條
久ノ繁榮ヲ全ウシ、奮ツテ舉國ヲ安ンジ奉ランコトヲ期シ度イト存
ズル次第デアリマス。
之ヲ以テ本日ノ會議ヲ終了致シマス。

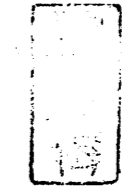
349

S 1.7.0.0 - 51

REEL No. A-1213

0442

アジア歴史資料センター



次第案

出御

二 内閣總理大臣御許シテ得タルニ依リ本日ノ議事ノ進行ハ内閣總理

大臣ガ之ニ當ル旨ヲ述ベ該題ヲ説明

三 外務大臣ヨリ外交々渉ノ経過ヲ説明

四 内務大臣ヨリ所管事項ニ關シ説明 (決り得た)

五 大藏大臣ヨリ所管事項ニ關シ説明 (高蔵)

六 文部大臣ヨリ所管事項ニ關シ説明

七 農林大臣ヨリ所管事項ニ關シ説明 (本報)

八 軍令部總長ヨリ統帥部ヲ代私ニテ説明

九 質問並 應答

意見陳述

十一 内閣總理大臣全員原案ニ異議ナキモノト認ムル旨ヲ述ベ併セテ所見ヲ陳述シ最後ニ本日ノ會議ハ終了セル旨ヲ述ブ

十二 内閣總理大臣入御ヲ奏請

十三 入御

出席者全員書類ニ花押

散會、書類上奏ノ手續ヲ進ム